

平成 30 年度事業計画書

公益財団法人徳川黎明会

基本方針

当財団は、平成 30 年度も引き続き、これまで蓄積してきた豊富な実績を基盤に、美術・史学の調査・研究等に一層の研鑽を重ね、その成果について、教育・普及活動等を通じて広く社会に提供・貢献する。

また、尾張徳川家伝来の美術工芸品・歴史資料、保有する貴重な国内外の美術品・資料等について、展示・研究発表等を通じて社会に公開し、文化・芸術の振興に努める。

1. 本部・総務部

平成 29 年度は、徳川美術館、徳川林政史研究所の事業活動を統括・支援、積極的に推進するとともに、長期懸案事項であった労働問題の解消・解決に向け、労働環境の整備・改善に努めた。

平成 30 年度は、法人の理念実現、より円滑な運営を念頭に、合理的な組織・制度等の見直し、人材配置の適正化、各拠点の業務効率化をはかり、執行・管理体制のさらなる強化に努める。

2. 徳川美術館

平成 29 年度は、耐震補強工事を実施した本館第 7～9 展示室における「特別展」・「企画展」の再開、新館開館 30 周年記念企画、観覧料金の一部改定を実施し、展示方法や教育普及プログラムに一層の工夫を加え、美術館のミッションの遂行に努めた。

平成 30 年度は、年度を通じた展覧会の充実による来館者数の増加、賛助会・友の会・大学メンバーシップ制度等会員向けサービスの充実による会員数の増加、寄附方法の改善による寄附収入の増加を図る。また、講堂・茶室等施設については、より利用しやすい環境・条件を整え、利用促進を図る。ミュージアムショップについても、一層の利用拡大を図りつつ、より効果的な運営を検討する。さらに、若年層およびインバウンド来館者へのサービス向上に努め、徳川園（庭園）、名古屋市蓬左文庫ほか、徳川園一帯各施設との協力を一層強化し、名古屋城などとも連携するとともに、愛知県の大規模観光キャンペーンや名古屋市の歴史文化基本構想を活かした観光推進事業など、広域的な観光集客面での取り組みについても積極的に参加し、その一環を担う。これらを総合的に推し進め、安定的な運営に努めるとともに、美術館のミッションの実現に努める。

3. 徳川林政史研究所

平成 29 年度は、徳川林政史研究所所蔵の尾張藩関係史料の整理・研究・公開だけではなく、他機関所蔵の尾張藩関係史料の調査・研究を推進し、その成果を徳川美術館で新規に開講した「江戸学講座」を含む公開講座で公表するなどして、教育・普及活動に努めた。また、林政史関係の普及書『江戸時代の森林と地域社会』を刊行した。

平成 30 年度は、昨年度に引き続き、所蔵史料の整理・研究・公開を、着実に進めるとともに、新たに個人所蔵の尾張藩・林政史関係文書の調査・研究に着手する。あわせて他機関所蔵の尾張藩関係史料等の調査・研究も一層推進させる。また、長年にわたる林政史アーカイブズ調査の成果を、ホームページ等で情報発信する体制の構築を図るため、ホームページの全面リニューアルを検討し、アクセスしやすい環境整備に努めていく。さらに、本年度は、尾張藩関係の史料集として『源敬様御代御記録 第四』を編集・刊行する。また、引き続き、徳川美術館で「古文書入門講座」「江戸学講座」を開講するなどして、連携を強化させるとともに、研究成果を広く発信するため、公開講座の充実を図る。これらの調査・研究・普及活動に、若手研究者を積極的に参加させ、将来有望な人材の育成に尽力していく。

なお、各事業拠点における実施事業詳細については、次葉以降に記載のとおりである。

I.公益目的事業

[公益事業 1] 美術館の運営事業（徳川美術館）

1. 美術品の展示・公開・修理・保存・収集

(1) 展示・公開

① 名品コレクション展（第1～5展示室）

年度内に4回（4,7,9,1月）大展示替えを実施し、約1か月ごとに部分展示替えを実施する。第1展示室では「名刀セレクション」、第5展示室では「国宝 初音の調度」を順次数点ずつ展示し、第6展示室では「国宝 源氏物語絵巻（複製）」の展示およびビデオによる同絵巻の解説を実施する。また、第1～5展示室において、以下の特集展示を実施する。

ア. 雨を愉しむ

6月6日～7月1日（第1～5展示室）

イ. 狂言に触れる

8月1日～8月28日（第4展示室）

ウ. 火事装束

1月4日～1月29日（第1展示室）

エ. 印籠・根付

1月4日～1月29日（第5展示室）

② 企画展（企画展示室（第7～9展示室））

ア. 春季特別展「明治150年記念 華ひらく皇室文化 ―明治宮廷を彩る技と美―」（巡回展）

4月17日～5月27日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会・CBCテレビ・中日新聞社・日本経済新聞社共催
幕末・明治維新・明治終焉へと宮廷を彩った調度類や染織品、帝室技芸員の作品から宮廷文化を紹介

イ. 特別展「名刀紀行 ―五箇伝巡り―」

7月21日～9月2日

読売新聞社共催

尾張徳川家伝来の刀剣の中から五箇伝を中心に戦国武将や大名たちを魅了した名刀を紹介

ウ. 秋季特別展「もじえもじ ―文字が絵になる、絵が文字になる―」

9月9日～10月28日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会・中日新聞社共催

葦手や仏画などの文字絵、絵を文字のように用いて言葉をあらわす絵文字などを紹介

エ. 特別展「源氏物語の世界 ―王朝の恋物語―」

11月3日～12月16日

中日新聞社共催

「国宝 源氏物語絵巻」をはじめ、平安から江戸時代までの写本や注釈書、絵画などを展示

オ. 特別展「尾張徳川家の雛まつり」

2月9日～4月7日

中日新聞社共催

御三家筆頭の格式と豪華さを具現する尾張徳川家の雛人形・雛道具を展示

③ 企画展（名古屋市蓬左文庫展示室）

ア. 春季特別展「明治150年記念 華ひらく皇室文化 ―明治宮廷を彩る技と美―」（巡回展）

4月17日～5月27日

イ. 企画展「タイムスリップ1918 大正の名古屋 ―米騒動絵巻に見る100年前のモダン都市―」

6月1日～7月16日

モダン都市へと変貌を遂げる名古屋の街並みを描いた絵巻から100年前の名古屋を紹介
ウ. ユネスコ世界記憶遺産登録記念企画展「朝鮮通信使と名古屋」(イ.と同時開催)

6月1日～7月16日

エ. 企画展「英雄たちの戦国合戦」

7月21日～9月2日

戦国時代の武将の書状や彼らの所持した武具などから、戦国の英雄達の姿と合戦の様子を紹介
オ. 秋季特別展「尾張藩邸物語」

9月9日～10月28日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会・中日新聞社共催

江戸や国許の諸屋敷の図面や屋敷内で使用された道具から尾張藩邸の姿や生活を紹介
カ. 企画展「徳川慶勝の幕末維新」

11月3日～12月16日

尾張藩政の舵取りを担った慶勝の生涯を通し、知られざる決断と転換の時代を探る
キ. 企画展「書は語る -30cmのエスプリー」

1月4日～2月3日

毎日新聞社共催

天皇や公家・武家、松尾芭蕉や池大雅、さらに夏目漱石など文化人らの懐紙や短冊を展示
ク. 企画展「ひなを楽しむ -旧家のひな飾り-

2月9日～4月7日

江戸時代から昭和に至るまでの町屋で飾られた様々な雛を紹介

④ 特別展示

ア. 重要文化財 純金台子皆具

9月26日～12月16日、第3展示室

イ. 国宝 源氏物語絵巻(橋姫ほか4場面を「源氏物語の世界」会期中に場面を入れ替えて展示)

11月3日～12月16日、第7展示室

ウ. 千利休 泪の茶杓

2月23日～3月3日、第2展示室

⑤ 特別観覧

徳川茶会

10月6,7,8,13,14,20,21,27,28日(9日間)

(2) 修理・保存・収集

① 国庫補助金「国宝重要文化財等保存整備費補助金」(国庫補助事業)による修理

国宝 源氏物語絵巻 柏木(一)・柏木(三)・宿木(一)・東屋(二)

国宝 初音蒔絵調度 書棚(七宝繫)・書棚(龍膽七宝繫)・見台 二基・旅香具箱

② 住友財団「文化財維持・修復事業助成」による修理

国宝 初音蒔絵調度

③ 活動支援基金による修理

能装束のほつれ修理

2. 調査・研究

(1) 学芸部における調査・研究

① 館蔵品悉皆調査

共同

② 尾張徳川家御道具帳のデータベース化

共同

③ 尾張徳川家関係寺社蔵品調査

共同

- | | |
|---|----------------|
| ④ 尾張徳川家に関連する政秀寺所蔵什宝の調査 | 共同 |
| ⑤ 古代・中世の料紙装飾の系譜 | 四辻 秀紀 (部長) |
| ⑥ 歌絵・物語絵の研究 | 四辻 秀紀 (部長) |
| ⑦ 徳川将軍家と尾張徳川家の研究 | 原 史彦 (部長代理) |
| ⑧ 戦国合戦図の総合的研究* | 原 史彦 (部長代理) |
| ⑨ 大名家における絵師の絵画活動についての研究 | 吉川 美穂 (マネージャー) |
| ⑩ 尾張における画家の活動について 一田中訥言を中心に一 | 吉川 美穂 (マネージャー) |
| ⑪ 武家女性の生活史の研究 | 吉川 美穂 (マネージャー) |
| ⑫ 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について | 並木 昌史 (学芸員) |
| ⑬ 渡来織物の調査研究 | 並木 昌史 (学芸員) |
| ⑭ 近世狩野派の研究 | 薄田 大輔 (学芸員) |
| ⑮ 戦国合戦図の総合的研究* | 薄田 大輔 (学芸員) |
| ⑯ 江戸初期絵画の研究 | 加藤 祥平 (学芸員) |
| ⑰ 尾張徳川家茶頭の研究 | 加藤 祥平 (学芸員) |
| ⑱ 愛知県における仏教絵画の研究 | 與倉 香織 (学芸員) |
| ⑲ 高雄曼荼羅にみる古代アジア密教美術の様相* | 與倉 香織 (学芸員) |
| ⑳ 近世狩野派を中心とした図様継承と絵画制作システムに関する研究* | 與倉 香織 (学芸員) |
| ※ ⑧⑮東京大学史料編纂所特定共同研究 | |
| ※ ⑱奈良国立博物館共同科学研究 | |
| ※ ⑳東京国立博物館共同科学研究 | |
| (2) 徳川林政史研究所との連携における研究 | |
| ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究 | |
| ② 尾張徳川家関連資料に関する基礎調査・研究 | |
| ③ その他、展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進 | |
| (3) 収蔵品データベースの構築 | |
| 調書作成・入力、写真データ作成・入力、展示作品リスト・キャプション用データ整備・入力、リスト・キャプションの作成等 | |
| (4) 研究用図書類の整備 | |
| 図書類の受入、整理および管理 | |
| (5) 研究成果の公開・公刊 | |
| ① 定期研究発表会 | |
| ア. 第 73 回尾張徳川家伝来「即位之記」について (6 月) | 並木 昌史 (学芸員) |
| イ. 第 74 回狩野探幽周辺の戯画図巻製作について(仮) (2 月) | 加藤 祥平 (学芸員) |
| ② 図録、研究紀要等 | |
| ア. 特別展図録等の作成 | |
| 特別展「名刀紀行 一五箇伝巡り一」 | |
| 秋季特別展「もじえもじ 一文字が絵になる、絵が文字になる一」 | |
| 企画展「徳川慶勝の幕末維新」(平成 25 年製作、絶版図録の再版) | |
| イ. 特別展図録の頒布 | |
| 春季特別展「明治 150 年記念 華ひらく皇室文化 一明治宮廷を彩る技と美一」(巡回展) | |
| 名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会作成の共同図録を頒布 | |
| ウ. 簡易リーフレットの作成 | |
| 秋季特別展「尾張藩邸物語」 | |
| 企画展「タイムスリップ 1918 大正の名古屋 一米騒動絵巻に見る 100 年前のモダン都市一」 | |
| 企画展「英雄たちの戦国合戦」 | |

- 企画展「書は語る -30 cmのエスプリー-
- 企画展「ひなを楽しむ -旧家のひな飾り-
- エ. 英文リーフレットの作成
 - 年度を通じ、展覧会毎に内容を紹介する英文リーフレットを作成
- オ. 金鯪叢書第 46 輯（「徳川林政史研究所研究紀要」第 53 号）の編集・刊行

3. 教育・普及

(1) 記念講演会

以下の各展覧会において記念講演会を開催する。

春季特別展「明治 150 年記念 華ひらく皇室文化 -明治宮廷を彩る技と美-」（巡回展）

特別展「名刀紀行 -五箇伝巡り-

秋季特別展「もじえもじ -文字が絵になる、絵が文字になる-

企画展「徳川慶勝の幕末維新」

(2) 記念講座

以下の展覧会及び特別展示において記念講座を開催する。

春季特別展「明治 150 年記念 華ひらく皇室文化 -明治宮廷を彩る技と美-」（巡回展）

特別展「名刀紀行 -五箇伝巡り-

特別展示「千利休 泪の茶杓」

(3) 特別鑑賞会

特別鑑賞会として以下を開催する。

豊国祭礼図屏風 高精細デジタル画像鑑賞会（9月） 解説：黒田 日出男 氏（東京大学名誉教授）

(4) 土曜講座

年度を通じ土曜講座として以下を実施する。

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| ① 尾張徳川家名宝の伝来を紐とく（4月 21 日） | 四辻 秀紀（部長） |
| ② 幕末から明治の美術をめぐる環境（5月 19 日） | 薄田 大輔（学芸員） |
| ③ 米騒動絵巻にみる大正の名古屋（6月 9 日） | 木村 慎平 氏（蓬左文庫学芸員） |
| ④ 戦国武将の手紙（7月 28 日） | 鳥居 和之 氏（蓬左文庫長） |
| ⑤ 戦国武将が愛した刀剣（8月 25 日） | 並木 昌史（学芸員） |
| ⑥ 尾張藩邸物語（9月 15 日） | 原 史彦（部長代理） |
| ⑦ 源氏物語「橋姫」帖の絵画化（11月 10 日） | 與倉 香織（学芸員） |
| ⑧ 幕末維新と写真術（12月 1 日） | 加藤 祥平（学芸員） |
| ⑨ 書のスタイルー懐紙・短冊・色紙の遺墨を通してー（1月 19 日） | 四辻 秀紀（部長） |
| ⑩ 福君の婚礼と雛道具（3月 9 日） | 吉川 美穂（マネージャー） |

(5) 秋期講座

9月または10月の平日2日間に1日あたり2講座を開催する。

(6) 徳川林政史研究所による古文書講座

「寛政の改革ー徳川宗睦とその時代ー」

6月 16,23,30 日,7月 7,14,21 日の土曜日午後開講（6講座）

(7) 徳川林政史研究所による江戸学講座（土曜日午後開講）

11月から1月の間に合計4回の講座を実施する（日程、テーマ未定）。

(8) 刀剣講座

7月 22 日,8月 5 日の日曜日午後開講（2講座）

(9) ギャラリー・トーク

各特別展・企画展において学芸員ほかによるギャラリー・トークを随時実施する。

(10) 特別展・企画展関連企画

- ① 年度を通じ展覧会にあわせて関連する知識・情報等をパネル展示する。
- ② ゴールデンウィーク企画（5月3日～5月5日）
兜試着、模造刀体験等を実施する。
- ③ 雛まつり企画（2月下旬～3月上旬）
十二単着装公開、香袋づくり、雛満喫プラン等を実施する。
- (11) 組香体験（個人向け）
年度内に3回実施する。
- (12) 土曜子ども教室・小中学校の児童・生徒向け教育普及活動
毎月テーマを決めて教室を開催する（土曜日は、小中学校の児童・生徒は観覧料無料）。
- (13) 夏休み子ども特別企画（8月1日～31日）
ギャラリー・クイズ、歴史教室、自由研究等を実施する。
- (14) 小中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー（7月）
- (15) 名刀スタンプラリー
年度を通じ随時実施する。
- (16) 中高大の生徒・学生の職場体験受け入れ（インターンシップ）
年度を通じ随時実施する。
- (17) 博物館実習受け入れ（5月15日～5月19日）
- (18) 古美術相談会
原則として毎月第1土曜日の午後実施する。
- (19) 名曲講座
「明治150年記念 華ひらく皇室文化」展に合わせて、以下のコンサートを開催する。
レクチャー・コンサート「華ひらく明治の西洋音楽」（4月22日）
- (20) 出講・受嘱
 - ① 出講
学芸部より、以下の各大学等への出講を予定している。
愛知県立大学、愛知淑徳大学、岐阜大学、金城学院大学、椙山女学園大学、中京大学、中日文化センター、同朋大学、名古屋芸術大学、南山大学
 - ② 受嘱
学芸部において、以下の外部職務の受嘱を予定している。
愛知県史編さん委員会特別調査執筆員（文化財部会および近世史部会）、京都国立博物館買取協議会委員、東京大学史料編纂所特定共同研究員、（公財）芭蕉翁顕彰会参与、文化庁平成30年度「博物館の管理運営に関する研修」企画運営会議委員、その他、外部機関からの依頼にもとづき、随時職員を派遣する。

4. 賛助会・友の会・大学メンバーシップ制度

- (1) 賛助会会員向け優待
 - ① 年間の無料入館
 - ② 企画展・特別展内覧会の実施
各特別展・企画展の開催日前日に賛助会員向け内覧会を開催（「図録」作成時は無料配布）
 - ③ 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布
 - ④ 特別鑑賞会および懇親会開催（11月10日）
 - ⑤ 会員のための見学会（国内の史跡・特別展等）の実施
 - ⑥ 茶会料金（特別観覧料）、ショップ商品等の割引
 - ⑦ 法人・個人向け賛助会案内を更新し、会員の拡大を図る
- (2) 友の会会員向け優待

- ① 一般会員向け観覧料優待制度
 - ② 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布（一般会員・情報会員向け）
 - ③ 一般会員向けのショップ商品の割引
 - ④ 他館との連携による会員向け相互観覧料割引
- (3) 大学メンバーシップ制度会員向け優待
- ① 対象大学法人の学生（一部教職員含む）の観覧料優待制度
 - ② 対象大学法人への展覧会ポスター・チラシ、イベント案内等の配布・掲示
- (4) 各会員制度の一層の拡充に向けた検討
- 各カテゴリーの会員制度について、会員数の拡充のための方策を多様な観点から更に検討する。

[公益事業 2] 研究所の調査・研究・普及事業（徳川林政史研究所）

1. 調査・研究

(1) 研究所における研究

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ① 近世材木商の研究 | 竹内 誠（所長） |
| ② 名古屋城の構造と儀礼に関する研究 | 深井 雅海（副所長） |
| ③ 尾張藩幕末維新史の研究 | 藤田 英昭（研究員） |
| ④ 尾張藩林政史の研究 | 芳賀 和樹（非常勤研究員） |
| ⑤ 近世弘前藩の山林支配に関する研究 | 萱場 真仁（非常勤研究員） |
| ⑥ 近代山村史の研究 | 加藤 衛弘（特任研究員・筑波大学教授） |
| ⑦ 近世山村の猟師に関する研究 | 栗原 健一（非常勤研究員） |
| ⑧ 尾張藩における美濃国山林支配に関する研究 | 田原 昇（非常勤研究員） |
| ⑨ 尾張藩祖徳川義直の研究 | 川島 孝一（非常勤研究員） |

(2) 徳川美術館との連携における研究

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連資料に関する基礎調査・研究
- ③ その他展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進

(3) 研究成果の公開・公刊

- ① 課題研究（1.(1)）に関する中間報告を兼ねた研究会の開催
- ② 『金鯪叢書』第46輯（『研究紀要』第53号）の編集・刊行
- ③ 所蔵史料の編集・刊行（『源敬様御代御記録 第四』）

(4) 「尾張徳川史」編纂準備（尾張徳川家編年データベースの整備、史料翻刻）

(5) 尾張徳川家関連資料の調査・研究

(6) 史料調査

- ① 林政史アーカイブズ調査
 - ア. 岐阜県中津川市加子母地域
 - イ. 岐阜県歴史資料館（岐阜県岐阜市）・飛騨高山まちの博物館（岐阜県高山市）
- ② 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集
 - ア. 名古屋市蓬左文庫（愛知県名古屋市）
 - イ. 犬山城白帝文庫（愛知県犬山市）
 - ウ. 国立公文書館（東京都千代田区）
 - エ. 文京ふるさと歴史館（東京都文京区）
 - オ. 国文学研究資料館（東京都立川市）
 - カ. 茨城県立歴史館（茨城県水戸市）
- ③ 収集史料データの整理および公開のための基礎作業

(7) 調査・研究における他機関との連携・協力

- ① 名古屋市蓬左文庫
- ② 犬山城白帝文庫
- ③ 国立公文書館・国文学研究資料館等の資料保存機関
- ④ 徳川記念財団
- ⑤ その他学会・協会

(8) 大学等における課外実習の受け入れ

2. 史料・図書の整理

(1) 所蔵史料の整理

- ① 尾張徳川家文書の整理・目録の作成
- ② 石河家文書の整理・目録の作成
- ③ 犬山成瀬家人用中野熊助関係文書の整理・目録の作成
- ④ 志水家文書の整理・目録の作成
- ⑤ 尾張藩奥医師野間林庵関係文書の整理・目録の作成
- ⑥ 旧蓬左文庫所蔵絵図の整理・目録作成
- ⑦ 徳川林政史研究所収集史料の整理・目録の作成
- ⑧ 旧名古屋税務監督局所蔵史料の整理・目録の作成
- ⑨ 王滝村松原家文書の整理・目録の作成
- ⑩ 尾張国各郡史料の目録の作成
- ⑪ 三河国各郡史料の目録の作成
- ⑫ 美濃国各郡史料の目録の作成
- (2) 所蔵史料の目録刊行（『金鯪叢書』第46輯〔『研究紀要』第53号〕に掲載）
 - ① 尾張徳川家文書目録(15)
 - ② 石河家文書目録(12)
 - ③ 犬山成瀬家人用中野熊助関係文書目録
- (3) 所蔵史料データベースの構築および保存
 - ① 尾張徳川家文書のデータベース化
 - ② 石河家文書のデータベース化
 - ③ 王滝村松原家文書のデータベース化
 - ④ その他整理済み文書のデータベース化
 - ⑤ 目録データベースの検索・活用方法ならびに公開体制（ホームページを含む）のあり方の検討
- (4) 史料のデジタルデータ化
 - ① 所蔵古写真のデジタルデータ化
 - ② 所蔵史料のデジタルデータ化
 - ③ 調査収集史料写真のデジタルデータ化
- (5) 史料の購入・補修（活動支援基金）
- (6) 書庫内の整理ほか保存環境の保全
- (7) 研究用図書 of 整理

3. 教育・普及

- (1) 講座・講演
 - ① 東京開催の「徳川林政史研究所公開講座」
 - ② 徳川美術館「徳川林政史研究所 古文書入門講座」
 - ③ 徳川美術館「徳川林政史研究所 江戸学講座」
 - ④ 史料調査と関連付けた講座・講演
- (2) ホームページによる情報発信
 - ① ホームページを活用した尾張藩政史・幕政史・林政史の研究成果の普及
 - ② ホームページを利用した情報発信の促進
- (3) 出講・受嘱
 - ① 出講
明海大学、学習院女子大学
 - ② 受嘱
東京大学史料編纂所共同研究員、その他、外部機関からの依頼にもとづき、随時研究員を派遣

4. 若手研究者の育成

- (1) 非常勤研究員・研究生による研究会の開催
- (2) 非常勤研究員・研究生による史料整理・目録作成作業（王滝村松原家文書など）
- (3) 非常勤研究員・研究生の徳川美術館・名古屋市蓬左文庫での見学研修の実施
- (4) その他、史料調査・研究・普及活動などへの参加

5. 閲覧・出陳・レファレンス業務

- (1) 史料閲覧
閲覧許可日：毎週火曜日・水曜日
- (2) 史料出陳
- (3) 所蔵史料写真の貸し出しおよび複写サービス
- (4) レファレンスへの対応

6. 補助金関係

- (1) 科学研究費助成事業（特定奨励費）
- (2) 特定奨励費以外の科学研究費助成事業
- (3) その他、競争的研究資金および民間助成金等

7. 事業評価委員会の開催

3月

Ⅱ.収益目的事業

[収益事業 1] 不動産賃貸事業

1. 不動産賃貸事業

外国人向け住宅の賃貸（全6棟）

[収益事業 2] ミュージアムショップ、宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

1. ミュージアムショップの運営

(1) 設備およびシステムの改善

- ① 什器の拡充
- ② 消費税軽減税率制度実施に備えた販売管理体制の準備
- ③ 機能的な販売集計、在庫管理、発注システムの検討

(2) 販売戦略および商品開発

- ① 新規取引業者の開拓
- ② 館蔵品をモチーフとしたオリジナル商品開発
- ③ オンラインショップの拡充

(3) より効率的・効果的な運営方法（外部委託を含む）の検討

2. 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

- (1) パンフレット・ちらしへの利用案内掲載
- (2) 入館券とのセットプランの導入
- (3) イベントとのセット販売
- (4) メニューの見直しおよび接客サービスの向上

Ⅲ.管理業務

[本部・総務部]

徳川美術館、徳川林政史研究所をはじめ、法人の円滑な事業推進のため、各拠点の事業部門、管理部門の担当業務を支援し、掌理・統括する。

[徳川美術館]

1. 補助金

- (1) 国庫補助金に係る交付申請および管理事務
- (2) 民間補助金に係る交付申請および管理事務

2. 活動支援基金

- (1) 活動支援基金に係る管理事務
[公益事業 1] 美術館の運営事業（徳川美術館）1.(2)に記載
- (2) 寄附者向けにより利便性の高い寄附方法（ホームページ上の仕組みや振込方法）の検討

3. 観覧料金

前売りペアチケットの導入

- (1) 適用対象展覧会
春季特別展「明治 150 年記念 華ひらく皇室文化 ー明治宮廷を彩る技と美ー」（巡回展）
秋季特別展「もじえもじ ー文字が絵になる、絵が文字になるー」
特別展「尾張徳川家の雛まつり」
- (2) 価格
2,300 円（税込、販売期間限定）

4. ゴールデンウィーク・お盆期間中の休館日の臨時開館

以下の連休中の休館日を臨時開館日として、観覧の需要に対応する（翌日も休館しない）。

- (1) 5月1日（火）
- (2) 8月13日（月）

5. 広報

展覧会内容に即しつつ、訴求対象を重点化した一層効果的な広報の実施を図る。とりわけ、ポスター・ちらしの一層効果的な配布、ホームページ・SNS などのウェブ上での効果的な情報発信の拡充を図る。

6. 営業

- (1) 団体利用促進のための活動
 - ① 旅行会社（教育旅行を含む）、観光協会等との連携
 - ② 県内外教育機関等への来館誘致活動
 - ③ 徳川園（庭園）とも連携した夜間開館および休館日貸し切り開館による利用誘致
- (2) 個人来館者利用促進のための活動
 - ① 県内外の観光施設及び宿泊施設との連携
 - ② 百貨店「友の会」との連携
 - ③ ホームページ・SNS 等による広報の充実

- (3) 茶室・講堂等の施設の有料貸し出しについて利用料金を引き下げると共に団体利用の促進を図る。
7. ボランティアの会運営
- (1) 展示解説の標準化（マニュアルの改訂と解説・画像ソフトの開発）
 - (2) 能力（スキル）向上のためのボランティアの会研修会および見学会の実施
8. 徳川美術館運営懇話会
第27回（9月上旬）
9. 徳川園各施設との連携
- (1) 月度連絡会議
 - (2) 徳川園調整会議（1月下旬）
 - (3) 徳川園各施設を紹介する団体客誘致のための営業用ツールを作成する。
 - (4) 徳川園各施設と連携しつつ、愛知県の大規模観光キャンペーンおよび名古屋市の歴史文化基本構想を活かした観光推進事業に参加、協力する。
10. 他の美術館・博物館との連携
- (1) 大名道具収蔵館研究会への参加
 - (2) 私立美術館会議への参加
 - (3) 日本博物館協会・全国美術館会議・愛知県博物館協会の事業への参加
11. 施設・設備の営繕と保守点検
中長期計画に基づき、以下の施設・設備の修繕および更新を実施する。
- (1) 館内整備
本館照明 LED 化、非常放送設備取替、空調用冷水電磁流量計取替、空調チラー1号機電装部分取替、空調機用中性能フィルター取替、講堂プロジェクター取替、中央監視装置バッテリー交換、屋上防水工事等を実施し、館内設備の継続保全を図る。
 - (2) 庭園整備
敷地内と周辺民家に隣接する樹木を適切に管理する。
 - (3) 茶室整備
茶室と周辺庭園を引き続き整備する。

[徳川林政史研究所]

1. 補助金
 - (1) 科学研究費助成事業（特定奨励費）に係る交付申請および管理事務
 - (2) 特定奨励費以外の科学研究費助成事業に係る交付申請および管理事務
 - (3) その他、競争的研究資金および民間助成金等への交付応募および管理事務
2. 活動支援基金
活動支援基金に係る管理事務
[公益事業 2] 研究所の調査・研究・普及事業（徳川林政史研究所）2.(5)に記載
3. 施設・設備の営繕と保守点検
本部建物および設備等の修理補修等